



2019年8月1日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

6月6日、保団連中央要請行動が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

県選出および比例東海選出の各議員（秘書対応も含む）には、要求項目①お金の心配をせず、歯科治療が受けられるよう、窓口負担割合を引き下げてください。②保険のきく歯科治療を増やしてください。③歯科技工士の処遇改善のため、歯科技工士に適切な技術料（委託技工料）が支払われるよう、抜本的な点数引き上げと実効性のある取り引きルールを確立してください。④歯科衛生士が活躍できるような施策を講じてください。⑤保険診療で安全、安心の歯科治療が実現できるよう、診療報酬を引き上げてください。⑥以上の施策の充実のため、必要な予算を確保してください。を持参して、歯科診療報酬の大幅引き上げ、必要な歯科医療費を国の責任で確保していただくようお願いした。岡田克也議員（無・衆・立憲会派）本村伸子議員（共・衆・比例東海）には直接懇談していただき、要請項目以外にも医科・歯科間の診療報酬格差問題、保険でより良い歯科医療実現にちなんで、子どもの歯科矯正に保険の拡充を求める運動、また、近年の超高薬価問題、等、多様な話があった。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

5月16日、保団連中央要請行動が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

集会は住江憲勇氏（保団連会長）の「通常国会閉会まであと1か月、消費税増税中止を含め、きっちりと結論を出す」との心強い挨拶で始まり、引き続き、国会議員の先生方からの激励があった。その後、県選出および比例東海選出の各議員（秘書対応も含む）にも要請書・関連資料を持参し要請した。昼からは要請書の内容でもある「診療報酬の大幅引き上げ、周知期間確保を求める」医師・歯科医師国会内集会に参加した。三重協会からは「歯科と医科の点数の違い」を初再診料の違いを含め、類似処置を具体的な処置料を挙げて比較し、参加された医師の先生方への理解と医科並みの点数への引き上げを求めた。ほかにも、歯科技工士問題の解決には歯科医療費の総枠拡大が必要であること。少子化対策のために妊産婦歯科検診を来院型で行うこと。産婦健診がいなべ市に採択されたこと等を報告した。引き続き、午後からは「戦争しない未来のために 守ろう憲法9条9条の会・医療者の会5・16国会内集会」に参加した。三重協会からは今年5月3日の憲法記念日に東京有明防災公園での「憲法を守れ！」の参加時にサブステージの討論会で多くの参加者から「国民保険料が高すぎる」「75歳以上の2割負担は絶対にやめてほしい」の声が上がっていたことを報告した。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

以 上